



# 病院NEWS

no. 353  
2013  
11/01



The Hospital News.Faculty of Medicine Kagawa University



ささえる、つながる、リードする。  
香川大学医学部附属病院  
KAGAWA UNIVERSITY HOSPITAL

香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 千田 彰一

## 順調に進む新病棟建設工事 ～新病棟の骨格が顕わに～

### 病院再開発推進室

病院再開発整備事業につきまして、ご理解ご協力を賜り深く感謝申し上げます。  
再開発計画の第1期工事として平成24年4月に着工しました新病棟の建設工事は、平成26年3月の完成に向け順調に進んでおります。これまでの工事の進捗状況について写真とともにお知らせいたします。

用地の掘削の後、地盤改良工事を  
実施しているところです。

平成24年10月5日



地下の免震装置を設置するための  
耐圧盤(マッドスラブ)を施工中です。

平成24年12月27日



地下の基礎工事躯体工事が終わり、  
地上に鉄骨が組上がり始めました。

平成25年4月12日



鉄骨の組上げが始まると驚くほど早い  
スピードで組上げの範囲が広がります。

平成25年4月17日



東側(写真左奥)を残し、あと少しで  
鉄骨が組み上がるまでになりました。

平成25年5月20日



病棟全体の鉄骨が組み上がり、低層階  
から順に躯体工事が始まりました。

平成25年6月25日



南東方向からの写真です。覆いの中では  
低層階から順に躯体工事仕上工事が  
外部仕上工事が施工されています。

平成25年8月25日



平成26年3月完成予定の外観イメージ  
です。準備期間を経て7月頃の運用開始  
を目指しています。

完成イメージ



完成後の新病棟は、患者さんの快適な療養環境のため従来の6床室を解消し4床室とするとともに個室も多く配置されます。また、高次急性期医療体制の整備・充実を図るため、1階に救命救急センターを拡充配置し、3階に集中治療部を拡充、新たに心臓血管センターを設置します。これらのほか、最先端の医療を提供するためのさまざまな取組が行われています。

工事期間中は騒音・振動等により、ご来院の皆様方にはたいへんご迷惑をお掛けしますが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

診療スタッフ

地域包括医療学講座は、高松市の寄付講座として平成25年1月に新たに設置されました。スタッフは、私の他、福永洋子・波平浩吉・新谷高理の3名の助教で構成されております。



窪田 良次



福永 洋子



波平 浩吉



新谷 高理

診療内容

①高松市民病院・塩江分院および香川診療所における診療



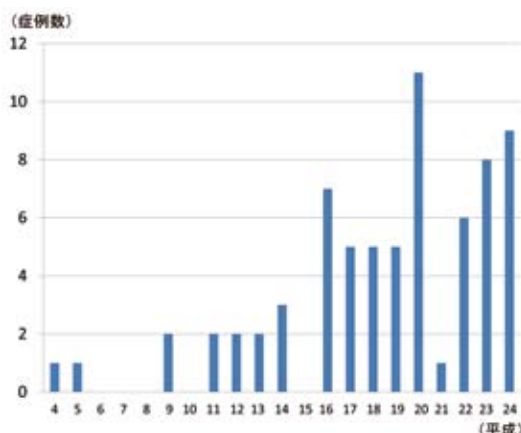
医師不足などによる地域医療の崩壊が大きな社会問題となっておりますが、高松市南部の山間部に位置する高松市民病院・塩江分院（以前は、塩江病院）や高松市郊外にある高松市民病院・香川診療所（以前は、香川病院）においても同じ状況にあります（地図）。当講座の重要な役割は、塩江分院と香川診療所において日常診療業務を行い、同地区における地域医療を充実させることです。現在、塩江分院においては、月～金曜日スタッフの誰かが必ず診療を行っておりますし、香川診療所では、月曜日と水曜日の午後診療を行っております（水曜日午後：胃カメラ検査を開始）。受診される方は、高齢者が多いことから、患者さんの病気を治療するだけでなく、その方の生活環境・病気の予防・介護を含むいわゆる「地域まるごと医療」を実践することにより、安心して受診していただけるようにしております。また、各スタッフの専門性（呼吸器疾患や血液疾患など）を生かした診療も同時に行っており、少しでもレベルの高い医療が提供できるように診療体制を充実させたいと考えております。

幸い、当講座のスタッフは、地域の一般病院や診療所における一般診療の経験が豊富です。我々のこれまでの経験を生かして、医療スタッフの教育を行うことにより医療レベルの向上を図ったり、健康教室などを通じて、地域住民の方に正しい医療知識を提供することによって少しでも地域に貢献できるように努力を続けていきたいと考えております。

②香川大学医学部附属病院における診療

香川県におけるエイズ診療の中核拠点病院であることと私が以前よりエイズ診療の責任医師であったことから、HIV感染症/エイズ（後天性免疫不全症候群）の診療を毎週金曜日午後に行っております。平成24年12月までに70例のHIV感染症の発生が報告されており、年々増加傾向にあります（図）。当院では、様々な職種からなるHIV感染症診療チームをつくり、それぞれの専門性を生かしたチーム医療を行っております。現在、20数名の治療を行っておりますが、HIV感染症/エイズは多剤併用療法（ART療法）により予後は著明に改善しており、ほとんどの方が普通に社会生活を送っております。臨床心理士によるカウンセリングも定期的に行い、患者・家族の方の心理面での支援を行っております。また、他院において発生した針刺し事故時のHIV感染症の予防対策についても対応しております。希望者には、HIV感染症の迅速検査も行っており、少し自己負担が必要になりますが、採血後1時間程度で検査結果がでます。

香川県におけるHIV感染症発生報告数



医学教育(地域医療)

将来、香川県内における地域医療に貢献できる若手医師を育成していくことも当講座の重要な役割です。地域医療に関する講義や塩江分院や香川診療所における臨床実習を通じて、少しでも多くの医学部生が地域医療に興味を持ち、香川県の地域医療を担う医師が育つように努力していきたいと考えております。

内科疾患は非常に広範囲にわたるため近年の大病院は、臓器別の専門診療科に細かく分かれていきます。しかし症状だけからは、どの臓器の疾患が決められない場合も多々あります。例えば「息切れ」や「動悸」の症状でも、循環器、呼吸器、血液のいずれの疾患でも起こり得ます。最初はひとつの専門領域の疾患と思われても検査するうちに膠原病や糖尿病など、他の専門診療科領域の病気が基盤にあることがわかる場合もあります。患者さんご自身では、その症状からどの専門診療科を受診すればよいか決められない場合は総合診療科が担当することが多いようです。その最たるものが、原因不明の発熱症状「不明熱」です。

古典的な不明熱の定義は「体温38.0℃以上の発熱を3週間以上の期間に2回以上認め、かつ3回の外来受診または3日間の入院検査で原因不明」とされています。不明熱をきたす疾患は200以上あると言われますが、最近の日本病院総合診療医学会の調査研究では不明熱の原因診断は、感染症25.5%、非感染性炎症性疾患(膠原病や血管炎など)30.8%、悪性腫瘍10.8%、その他(薬剤性発熱など)12.5%、原因不明23.3%だったと報告されています。原因確定のためには、十分に患者さんの話を聞く医療面接と身体診察を繰り返します。血液検査、血液培養、超音波検査、CTなど痛みの少ない検査を早期に行い、得られた所見に応じて病変部位を絞った検査を追加します。疾患を絞り込んだ上で必要に応じて近年注目されるPET検査を用いれば、炎症性または腫瘍性病変を高感度で全身性に検出できるため不明熱の原因診断に有効な場合もあります。しかし、どのような検査を行っても依然として原因不明の場合は残ります。この場合は自然に軽快していく例も含まれ生命予後は比較的良いといわれていますが、経過とともに異常所見が出現しないか慎重に外来で経過観察を継続する必要があります。また、不明熱には精神的ストレスなど「心の状態」が関与することもあるため、身体と精神を全人的総合的に診断・治療を行う総合診療医の専門性を求められる症候群と言えます。

毎日新聞「四国健康ナビ」 H25.10.9掲載

## たかが白内障、されど白内障

眼科 助教 福田 恒輝

「最近何かかすむなあ…」「昼間外出するとまぶしくって…」「視力が落ちて、見えにくい…」そんな症状で眼科を受診された方いらっしゃいませんか?それは白内障の症状として私達、眼科医が外来でよく耳にする訴えです。それでは「白内障」ってどんな病気なんでしょうか?手術の説明をする時などに患者さんに直接聞いてみると、「眼の中の何かが濁っているんでしょう?」「じゃあ、何が濁っているんでしょう?私達はよく眼球をカメラに例えてご説明いたしますが、濁っているのは「水晶体」といわれる組織、いわゆるレンズなんですね。このレンズが濁ってくるために、外界からの光が曇った状態で眼内に入りものがかすんで見えたり、光が乱反射してまぶしく感じたりするわけです。この濁りは主に加齢によって進行しますが、他に外傷や糖尿病などの全身疾患に伴って発症することがあります。濁りが軽いうちはそのまま様子を見ますが、ひどくなって自覚症状がでてくると手術が必要になります。現在の白内障手術の主流は、2~3mmの傷口から超音波の器械で濁りの部分だけを吸い出し、濁りを包んでいた透明な袋をわざと残し、その袋に人工のレンズを入れるというやり方です。点眼麻酔で痛みはほとんど無く、手術時間も短時間で済みます。ただ、時に難しい症例が潜んでいます。見えにくいのを我慢し続けると、水晶体が非常に硬くなってしまい、手術が難しくなることがあります。もしくは、水晶体は眼内で細い無数の繊維によって支えられていますが、この繊維が弱い方は袋の中に人工レンズを入れられず、眼球の外壁の強膜という組織に直接縫い付ける必要のある方がいらっしゃいます。これらの難症例の方は手術中の思わぬ合併症で、期待した視力が得られない事もあります。そのような方は施設の整った医療機関で、白内障手術に熟練した先生に手術をお願いするのが良いでしょう。まずはお近くの眼科の先生にご相談を!

毎日新聞「四国健康ナビ」 H24.2.29掲載分を一部改稿いたしました

## 第5回お月見で笑を開催

医事課

9月18日(水)18時30分から、医学部附属病院1階玄關ホールで秋の院内イベント「お月見で笑(ショー)」を開催しました。

NHK文化センター高松教室で「お笑い福祉士入門(講師:落語家 笑福亭学光)」を受講している生徒さん達8人が、当院の入院患者さんに早く良くなってもらうことを願い「笑いは健康の源」として落語・手品・南京玉すだれなどを披露してくださいました。



## CVカテーテル挿入施行医について

医療安全管理部



本院は、平成24年10月1日より、中心静脈カテーテル挿入に伴うインシデント対策として、CVカテーテル挿入施行医制度を実施しております。

医師免許取得6年未満の者は、研修(講義・実技)受講1回とCVカテーテル挿入介助3回、診療科長の推薦をもって施行医と認定(初期研修医は、指導医の指導下で施行)されます。医師免許取得後6年以上の者は、所属診療科長の推薦で施行医と認定されます。

地域医療教育支援センター内には、穿利用超音波画像診断システムがあり、トレーニングも可能となっております。

現在、施行医は241名となり、制度開始前と比較すると、影響度レベル3b以上のインシデント数が減少しています。より安全な医療を目指して皆様方のご協力をお願いいたします。

## 臨床研究に関するご案内

医学部倫理委員会委員長  
医薬品等臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研究)の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意がたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科まで申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

### ●臨床研究に関するご案内URL

<http://www.med.kagawa-u.ac.jp/~hospital/gairai/rinsyokenkyu.html>

## イベントカレンダー H25.11~12月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
11/9,10	13:00~	湯元こども温泉琴参閣	こんびらセミナー「若手麻酔科医のためのハンズオンセミナー」	麻酔・ペインクリニック科	(087)891-2223
11/12	14:00~16:00	病院地下1階 カンファレンスルーム	肝臓病教室	地域連携室	(087)898-2417
11/15	14:00~16:00	病院地下1階 オリーブの郷	がん患者サロンセミナー	がん診療相談支援室	(087)891-2473
11/16	13:30~15:30	臨床講義棟1階	平成25年度香川県周産期医療従事者研修会	周産期学婦人科学	(087)891-2174
11/17	10:30~	琴平グラントホテル桜の抄	世界糖尿病デーイベント「こんびらさん健康ウォーク」	糖尿病センター	(087)891-2447
11/18	18:30~	病院職員食堂(オリーブ)	医学学生と医師の卒業キャリア形成に関する情報交換会	医学部総務課職員係	(087)891-2014
11/23	12:55~19:20	かがわ国際会議場	第1回新胎児学研究会	周産期学婦人科学	(087)891-2174
12/1	9:00~	かがわ国際会議場 サンポートホール高松	第109回日本内科学会 四国地方会	消化器・神経内科	(087)891-2156
12/2	17:30~19:00	管理棟4階 会議室1	緩和ケア学習会・緩和ケアエキスパート研修	腫瘍センター	(087)891-2054
12/7		香川県医師会館	第93回日本小児科学会香川地方会	小児科学講座	(087)891-2171
12/8	12:00~	香川県立保健医療大学	第6回香川県小児保健協会研究会	小児科学講座	(087)891-2171
12/14	15:30~	JRホテルクレメント高松	医学部附属病院開院30周年記念式典等	医学部附属病院	(087)898-5111

## 平成26年度 看護職員募集

看護師・助産師  
85名募集

受付期間 平成25年7月1日(月)~  
平成26年1月14日(火)

試験日	応募締切日
11月29日(金)	11月19日(火)
平成26年1月24日(金)	平成26年1月14日(火)

お問い合わせ先 087-891-2320(看護管理室)

### 編集委員会 (50音順)

石井(看護), 岩瀬(病棟), 岡田(総務),  
鬼村(医事), 梶川(検査), 加藤(放射線),  
唐木(外来), 白神(麻酔), 芳地(薬剤),  
松本(看護), 安友(管理), 横井(情報),  
〔委員長 千田病院長〕